

読売新聞 きょう（1月7日）のイチ押し

1面・社会面など 沖縄・広島・山口まん延防止 政府きょう決定

新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に急増しています。感染拡大が顕著な沖縄、山口、広島の3県について政府は、緊急事態宣言に準じた対策が可能になる「まん延防止等重点措置」の適用を7日に決定します。

- ★ 3県では在日米軍基地の周辺地域で感染が広がり、基地が感染源と指摘されています。米軍関係者は日本の水際対策の対象外であり、全国の米軍基地内での感染者は6日時点で計1784人に上っています。
- ★ 全国の新規感染者数は4475人と、1週間前と比べ約9倍に増えています。広島県では約45倍、沖縄県では約20倍に。厚生労働省によると、感染力の強い変異株「オミクロン株」の割合は全国で46%に達し、西日本を中心に急速に置き換わりが進んでいるようです。
- ★ 沖縄県では、感染者や濃厚接触者になって勤務できない医療従事者が6日時点で173人おり、一般診療にも影響が出ています。大阪府は患者急増に備え、軽症・中等症病床の運用を最も低いフェーズ1から2番目に深刻なフェーズ4へ引き上げると発表しました。

1面・国際面など エマニュエル米駐日大使「同盟、常に強化」

米国の新しい駐日大使として近く赴任するラーム・エマニュエル氏が本紙の単独インタビューに応じました。「自由で開かれたインド太平洋」を実現するために、日米同盟の強化に取り組む考えを示しました。

- ★ エマニュエル氏は民主党のクリントン、オバマ政権でホワイトハウスの要職を務め、バイデン大統領との個人的な関係も深いとされます。
- ★ 日米同盟については「地域を守る防波堤」と表現し、「常に強化し、未来に向けて育てていく必要がある」と指摘しました。

他紙と比べて

新年の伝統的な遊びである「コマ回し」。倒れそうで倒れない回転運動は地球の動きと共通点があり、町工場の技術力向上にも一役買っているそうです。「どういうこと？」と思われた方は、「なるほど科学&医療」のページ（29面）をご一読ください。科学的な視点によるコマの様々な話題を取り上げています。